

小美玉市の文化情報はなんでもおまかせ！

みた？ みた！ マガジン

# おみた Magazine

アピオス40歳・みの～れ20歳 記念インタビュー

アピオス・みの～れへ贈る未来への想い



山本さんは、みの～れで開催している光と風のステージCueの企画・運営などを担当。「1人では実現できない企画を色々な方と対話しながら実現していく過程が楽しい。普段の生活では体験できない活動に関われる機会を提供してくれるみの～れは貴重な場。今後は子ども達にも音楽に触れる機会を増やせる企画を実現したい」と話してくれました。

大貫さんは、アピオスで開催しているおやこDEジャズの小道具・衣装製作などを担当。「多様なメンバーの意見を聞き、新たな気づきを得られることが新鮮。また、子ども達の笑顔を見られるのが一番嬉しい。今後は子ども達がもっと気軽に立ち寄って遊べるような場にしていきたいし、プロジェクションマッピングを子ども達に見せたい」と話します。

小美玉市文化ホールイベントはココがすごい！

イベントの企画・運営として参画できるのは、アピオス・みの～れ・コスモスならではの特徴。企画・運営に関わることで得られる新たな交流・対話の文化を体験して欲しいです。小美玉市の公共ホールならではの、小美玉市まるごと文化ホール計画に詳細に記載されておりますので、その計画を見て共感した方は、お茶のみしたい！とお声がけください。<保田孝雄>



## CHECK!! チケット&申し込みインフォメーション



光と風のステージCueプロジェクトは「風のホール」または「風の広場」をライブハウスのようにおしゃれな空間として演出しようというもの。たまにはのんびりライブを楽しんでみませんか？

### 光と風のステージCue vol66 オーボエクラシックコンサート

2022年12月17日(土)19:00 四季文化館 みの～れ 風のホール

◇料金:1,000円(ワンドリンク付) ◇出演:山田涼子(オーボエ)、大堀晴津子(ピアノ)

◇演奏予定曲:風笛～あすかのテーマ～、サロンのための小品 他

◇未就学児入場不可 ◇企画制作:光と風のステージCueプロジェクト

チケット発売中! 0299-48-4466(みの～れ)

## ひととみの～れ

茨城キリスト教大学3年 岩田麗加さん

中央高校1年生の時、みの～れ支援隊公演スタッフのおもてなし研修を受けたことがありましたが、みの～れが地域創造大賞(総務大臣賞)を受賞している全国の先進事例であることや、アピオス・コスモスも住民参画の事業を展開していることを知らず、その魅力に気づきませんでした。今回、タウンジャーナル小美玉学生レポーターとして、文化ホールで活動する3人の市民リーダーに取材したところ、「共に成長」「常にチャレンジ」「住民と職員はパートナー」ということを共通して語っていたのが印象的でした。また、小学校との打ち合わせに同席したことや、舞台設営など業務内容を体験できたことで、実際に市職員の働くイメージを想像することができました。<談>



タウンジャーナル小美玉2次元コード

## 2022年12月の催し

※営利目的ではなくどなたでも入場可能で「文化芸術イベント情報掲載申込書」にて申込みをした催しのみ掲載しております。※このスケジュールは2022年10月6日に作成したものです。新型コロナウイルスの影響により中止(延期)の可能性あります。

開催日	イベント	開演	場所	主催・問い合わせ先	料金
12月3日～12月11日	陽だまり横丁vol.187 第9回芸術展 夢幻の未来	10:00～15:00	みの～れ ホワイエ	みの～れ 0299-48-4466	入場無料
12月4日～1月13日	ときめき美の小径 「第11回 いもこじ展」	9:00～21:00	みの～れ 館内通路	みの～れ 0299-48-4466	入場無料
12月11日	第18回 Mari Jazzdance Company 発表会	14:00	みの～れ 森のホール	Mari Jazzdance Company 代表 中島 090-6109-3533	入場無料 (要入場整理券)
12月17日～12月25日	陽だまり横丁vol.188 重なり(工芸・絵画・写真)	9:00～21:00	みの～れ ホワイエ	みの～れ 0299-48-4466	入場無料
12月17日	こもどーるクリスマスファミリーコンサート2022	14:00	コスモス 文化ホール	コスモス 0299-26-9111	無料 (要整理券)
12月17日	光と風のステージCue Vol.66 「オーボエクラシックコンサート」	19:00	みの～れ 風のホール	みの～れ 0299-48-4466	1,000円
12月24日	重なり(ギター・ピアノ・コーラス・ジャズ)	13:00～15:30	みの～れ 風のホール	とりの会 三輪 0299-46-1868	入場無料 (要入場整理券)

## 2022年12月と 年末年始の 休館日

アピオス	みの～れ	コスモス
毎週月曜日(月曜が祝日の場合はその翌日) 12月28日(水)～1月4日(水)	12月5日(月)、12月19日(月) 12月28日(水)～1月4日(水)	毎週月曜日・祝日(月曜が祝日の場合はその翌日) 12月28日(水)～1月4日(水)

10年前に移住しました。小美玉に来てから友達がたくさん増えて楽しい毎日を送っています。今年からMyuの広報部に誘われて稽古場で写真を撮っているうちに、子ども達から「じい」と呼ばれるようになり、孫がたくさん増えました！文化ホールは小美玉市の元気の源ですね。<齋藤友幸>

おみた Magazine 168号  
令和4年10月27日

編集:みのんば編集局 (四季文化館みの～れ内)  
発行:小美玉市生活文化課  
〒319-0132 茨城県小美玉市部室1069  
TEL:0299-48-4466

### 小美玉市の文化情報はホームページ・SNSでも発信中です!

アピオス SNSアイコン  
みの～れ SNSアイコン  
コスモス SNSアイコン

ホームページ2次元コード QRコード



# 人が育つ劇場 一人は劇場とどのように関わってきたのか？

# 人に育てられる劇場



**しろい りつこ**  
**白井 瑠津子 さん**

小美玉市の教育施設に勤務する白井さん。さくらフェス開催に向けて取り組んでいましたがコロナ禍により中止が続き、今年度はワクワクコンサートとの併催イベントとしてようやく開催できました。元々友人のお手伝いから始まったさくらフェスとの関わりですが、職員の協力にも恵まれて気がつけば実行委員長に。やり始めたことはやり遂げたい自称「くじけない女」。重圧と準備の多忙さに落ち込むこともあったけど、子ども達の笑顔を見たら「またやりたい」という気持ち。そんな気持ちになれるみの〜れで出逢えた全ての「人・コト」が財産です。<遠藤雅樹>



さくらフェスティバル実行委員会

笠間高校美術科で油絵を専攻した矢口さんは「芸術を通して地域の人と関わりたい」との想いで芸術展プロジェクトメンバーに加入。東京の美術大学に進み、会議にはオンライン参加。



**やぐち まさき**  
**矢口 茉樹 さん**

「メンバーの皆さんに支えていただいています。みの〜れはボランティア活動がしやすく勉強になります」と矢口さん。みの〜れ20歳記念事業でも、得意分野の歴史展示チームの一員として準備を進めています。「これからも人との繋がりを大切にして、小美玉市と市民と芸術をつなぐことができる企画を考えて盛り上げていきたい」と話してくれました。<加藤篤子>



芸術展プロジェクト実行委員会



**ほそや としき**  
**細谷 聡希 さん**

6歳～高校生まで、みの〜れライフ12年以上の聡希さん。舞台技術を学ぶ大学へ進学後、照明・音響・舞台を手掛ける会社に就職して4年目。「毎週末みの〜れに通いながら味わったワイワイ楽しい感じが、みの〜れが20年経った今も続いているのが嬉しいです。中学1年生の時にMyuで舞台技術の指導を受け、高校生からはMyuの舞台の照明操作・音響操作を務めてきました。子どもの頃から、表(役者)も裏(各スタッフ)も経験してきたので、両方の視点が鍛えられてきたことが今の仕事で活きています。この業界を目指す人はMyuで経験させてもらうといいですよ」と話してくれました。<野手利江>



高校時代に舞台技術スタッフを経験



**はたけやま あつき**  
**畠山 杏月 さん**

小学生の時、友達からの誘いでダンスを始め、表現することの楽しさを知りました。その後みの〜れで行われた演劇ワークショップでさらに表現することが好きになり、美野里中学校で演劇部に所属。「多くの人がさまざまな役割を務めてこそ、自分たちの舞台を創り上げることができると学びました」と畠山さん。「小さい頃、引っ込み思案だった自分に、舞台の素晴らしさや表現の楽しさを教えていただいた時間は、とても貴重で大切でした。感謝しています」と、素敵な言葉を聞かせてくれました。<植田みり>



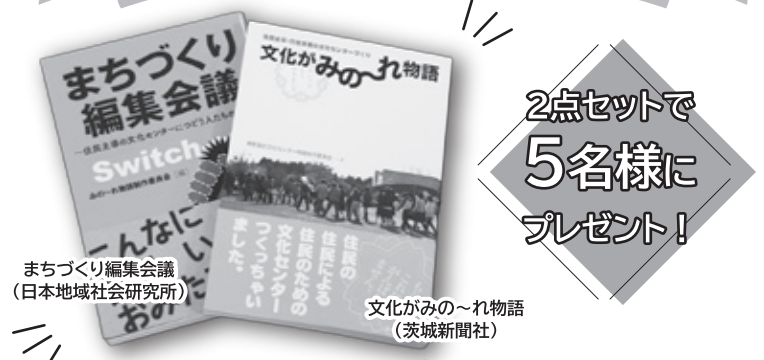
美野里中演劇部時代



**うちだ さやか**  
**内田彩也香 さん**

今までは何気なく利用していたアピオスでしたが、2年前から誘われる形で参加した活性化委員会で、アピオスや委員の皆さんと交流を深めるごとにアピオスの魅力に気がきました。それがきっかけで自分から文化情報をチェックしたり、文化ホールに対する想いも変わったかなと感じています。アピオスへ足を運ぶことがあまりない方が、ふとしたキッカケで『何かやってないかな』と気にかけてくれたり、気軽に足を運んでくれるようなそんな場所にこれからはってほしいです。<談>

## おみたMagazineプレゼントコーナー



2点セットで  
5名様に  
プレゼント!

みの〜れ誕生までの6年半の軌跡を描いた「文化がみの〜れ物語」と、みの〜れ10歳記念時に出版された「まちづくり編集会議」をセットで5名様にプレゼント!

応募期間: 11月30日(水)まで  
応募方法: メールまたは指定のフォーム

メールアドレス  
[bunka@city.omitama.lg.jp](mailto:bunka@city.omitama.lg.jp)  
※応募多数の場合は抽選のうえ当選者のみご連絡します



専用フォーム  
2次元コード

お問い合わせ 0299-48-4466(みの〜れ)

## kid's voice

—子どもたちにインタビュー!—

ミュージカルのほんばんがたのしみです。がんばります。

いなげ ゆず さん(8さい)

Myuのれんしゅうでみの〜れにくるのがたのしいです。

ますだ ちさと さん(6さい)

太鼓のかけ声やリズムがおもしろい。やっぱり太鼓がすき。

◀しまだ はる さん(8さい)

おしま ゆづき さん(7さい)

パパの太鼓はカッコいい。パパよりもうまくなりたいな。